

英語教育 ステイブ・リアさん & 佐藤久美子さん — 「使える英語」をめざして…

今回は、本協会が語学講座を担当しているステイブ・リアさんとリアさんが尊敬し、NHKラジオ「基礎講座2」のテキストを共に手掛ける佐藤久美子さんのお二人に、英語学習の方法を中心に話を伺いました。



年齢によって、英語学習の方法やポイントは異なりますか。

佐藤: 子どもの発達段階に合わせて変わりますね。2~4歳半は、ゆっくりとした発音で絵本の読み聞かせやリズムを使うことが効果的ですが、4歳半~5歳になると、歌を聴いて音をマスターできるようになります。小学校になると、カタカナ英語の影響で英語の発音が難しくなったり、中学生になると間違えると恥ずかしいという思いが強くなります。小さいときから、日本語、英語にかかわらず、自分のことを他人の前で話す習慣をつけたいですね。

学習方法のアドバイスは?

佐藤: 小さいお子さんの場合は、親も一緒に楽しむこと。一緒に学ぶ姿勢が大切です。
ステイブ: 私は娘(4歳)とゲームやパズル、絵本などで遊んでいます。娘は毎日学んでいるようです。

佐藤: 中学生になれば、毎日英語に触れること。毎日英語を書く、声を出して読む、聞く…言語は積み上げていくものですから。
ステイブ: 私は楽しむことがベストの学習方法だと思います。楽しめば語学力も自然と伸びます。



※ステイブ・リアさん
玉川大学准教授
本協会「初級英会話」講師

佐藤: そうですね。何か具体的な動機付けがあればさらに伸びますね。「外国に行って話せたら楽しい」とか、「サッカー用語を知りたい」とか。

大人の場合、英語のシャワーを浴びるより、「基礎英語」のような易しい英語をしっかりと聞いていく方がいいです。お母さんが子どもに教えるようなゆっくりと易しい英語を毎日聞いて、真似(リピート)します。そうしていると、映画などを聞き取れるようになっていきます。

今後の目標をお聞かせください。

佐藤: 「使える英語」を身につけてもらうことです。小さいころから楽しく英語に触れて、自分の意見を堂々と英語で伝えられるようになってほしいです。世界に発信したり、どこでも通用する「使える英語」です。
ステイブ: これからも、やる気のある学生たちを導いていきたいですね。私のゼミでは少人数制で、プレゼンや卒論すべてを英語で行っています。

※佐藤久美子さん
玉川大学大学院教授



お二人はお互いにいい影響を受けているのですね。

佐藤: 英語教育に関する考え方が似ています。今までに大学生向けのテキストやDVD教材と一緒に作りましたが、ステイブさんはアイデアがすばらしくて、あたたかい人間性がテキストのストーリー作りに現れて楽しいです。
ステイブ: 11年間のつきあいですが、これからも一緒に仕事をしていきたいです。引き続き基礎英語の仕事が楽しみです。

お二人の勤務する緑豊かな玉川大学のキャンパスでお話を伺いました。語学が上達したいと思っっている私たちに参考になるお話でした。ありがとうございました。
(取材・文: 編集ボランティア 相沢 明子)

